

(令和7年(2025年)6月30日)

エゾシカ対策有識者会議 生息状況評価部会

議事録(概要版)

日時 令和7年(2025年)6月9日(月)10時00分~12時00分
開催場所 北海道立道民活動センター かでる2・7 1050会議室
出席者 別添「出席者名簿」のとおり
議題 (1) エゾシカの生息状況及び捕獲状況等について
(2) 令和6年度(2024年度)エゾシカ個体数指数の推定について
(3) エゾシカ捕獲推進プランについて
(4) その他

議 事

(1) エゾシカの生息状況及び捕獲状況等について

ア 事務局から、エゾシカ捕獲数の推移について説明。

イ 事務局から、令和6年(2024年)エゾシカが関係する交通事故発生状況について説明。

ウ 稲富構成員から、令和6年度(2024年度)列車運行支障発生件数によるエゾシカ生息動向の評価について説明。

エ 道総研(榎本研究職員)から、令和5年度(2023年度)エゾシカ捕獲努力量当たりの捕獲数及び目撃数について説明。

オ 道総研(山口研究職員)から、令和6年度(2024年度)エゾシカライトセンサス調査結果について説明。

カ 質疑応答等(・ 無)

- ・ 北部地域で列車運行支障件数が減少した一方、交通事故及びライトセンサスの結果が右肩上がりとなっている関係性は。(上野構成員)
→ いろいろな要因があると思う。JRの対策が功を奏した可能性もある。(稲富構成員)

(2) 令和6年度(2024年度)エゾシカ個体数指数の推定について

ア 稲富構成員から、ベイズ法によって算出した令和6年度(2024年度)のエゾシカ個体数指数等について説明。

イ 地域区分(東部・北部・中部・南部)ごとに令和6年度(2024年度)の個体数指数等について意見交換を行った。

ウ 質疑応答等(・ 無)

- ・ 2022年度以降のライトセンサスを用いて個体数指数を推定することとするという意見で一致。

(3) エゾシカ捕獲推進プランについて

ア 事務局から、令和7年度(2025年度)エゾシカ捕獲推進プランの考え方等について説明。

イ 質疑応答等（ 有 ・ 無 ）

- ・ 東部地域は補正個体数と未補正個体数の乖離が大きい。捕獲推進プランは、個体数指数の推定結果に基づく捕獲目標に到達しない目標値になっているが、個体数を減少させられるものなのか。（稲富構成員）
 - 補正個体数を元に試算すると減少する結果にはなる。（事務局）
 - 個体数指数の推定手法を見直す必要があるのかもしれない。（松田部会長）
 - いろいろなモニタリングデータが取られているが、ライトセンサスのみに依存して大丈夫か。また、北部、中部、東部は空間的に大きい単位であり、その単位で良いのかは今後議論した方が良い。（飯島構成員）
- ・ 捕獲推進プランは市町村の努力を広げるものであり、科学的なシナリオに必ずしも則っていないので、切り分けて説明すると棲み分けができるのでは（上野構成員）

(4) その他

なし

以 上